

研究課題名	婦人科癌患者におけるTC療法による末梢神経障害に対する牛車腎気丸の予防効果
研究の意義・目的	子宮体がん、卵巣がんに対して抗がん剤治療（パクリタキセル、カルボプラチン）を行った方で、牛車腎気丸の内服を行っていた方と行っていなかった方とで末梢神経障害（しびれ）の副作用の発現頻度を比較検討します。また、研究課題にあるTC療法とはパクリタキセル、カルボプラチンを用いた抗がん剤治療のことです。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2023年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2017年9月～2019年1月に大阪公立大学医学部附属病院の婦人科で、子宮体がん、卵巣がんの抗がん剤治療のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT画像、MRI画像、末梢神経障害（しびれ）の程度、末梢神経障害以外の副作用の程度と頻度】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院婦人科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院婦人科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 女性病態医学 研究責任者 福田 武史
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 女性病態医学 （担当者氏名）福田 武史 電話番号：（06）6645-3862 メールアドレス：tfukuda@omu.ac.jp